

質問順位	6	質問者	山口清悦 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
1. 市民生活行政	1. おくやみ窓口の設置について	<p>1. 2020年度における全国のおくやみ窓口設置自治体数は2019年度の16自治体から169自治体に急増しました。北海道内においても札幌市・岩見沢市・千歳市・室蘭市等が既に設置しています。死亡時における手続きは相当数に及ぶと考えられ、高齢社会の進展や相続者の市外在住などが増加する現在、遺族の負担はかなり大きなものです。ワンストップとなるおくやみ窓口を設置することで市民の立場に立った行政窓口の効率化を目指し、より一層の市民サービス向上を提案いたします。</p> <p>おくやみ窓口及び設置に対する市長の考えをお伺いします。</p>			
2. 防災行政	1. 避難訓練について	<p>1. 11月23日に滝川市スポーツセンターで市民参加型防災イベントが開催されました。町内会役員や各団体の方々が参加する中、避難時に使用するワンタッチテントや段ボールベッドの組み立て、簡易トイレの使い方、非常食の試食など、とても役に立つ内容でした。将来に向けて避難所内設備の設営は、市立高校生などにも学校で訓練をしてもらうことで組み立てをできる人口を少しずつ増やしていくべきと考えますが、市長及び教育長の考えをお伺いします。</p>			
3. 教育行政	1. 文化センター大ホールの代替について	<p>1. 11月25日に開催された総務文教常任委員会において、文化センター大ホールの代替案が報告されました。内容はホテルスエヒロの一部を借上げ代替施設とするというものです。音楽関係者は、ここでの演奏会実施は物理的に不可能と言っています。また、文化祭などに出演しているバトントワリング関係者なども同じように天井の高さを考慮すると物理的に不可能になると思われます。市が提示する代替施設では、使用できない団体は滝川市内での演奏披露や演技披露を諦めろということと同じかと思いますが見解を伺います。また、新町にある中央児童センターの1階体育館は、音楽関係者に聞くと2階建てのため、雨音もなくステージも広く取れるので代替施設として適していると聞いていますので、ここも追加するべきではないでしょうか。また、常任委員会では令和4年度の代替施設と説明を受けましたが、いつまでこれを使うのか、市長の考えをお伺いします。</p>			